

非正規シングル女性



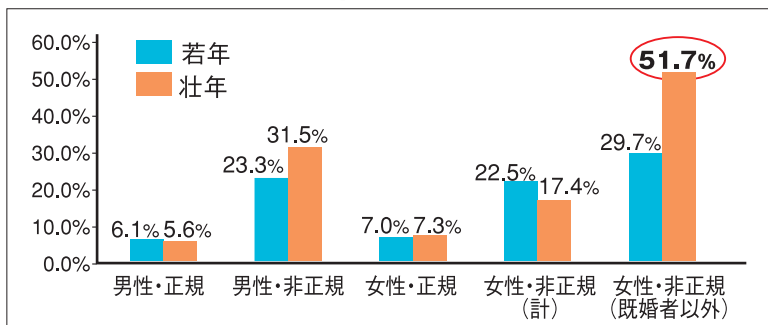
●男性稼ぎ主モデルが前提の女性の非正規労働

もともと女性の働き方として、パートを中心とする非正規雇用の割合は高かった。それが問題にならなかったのは、女性は家事や育児を担いながら主たる家計者(夫)に扶養されるという前提があったからである。

●現在・将来の不安の第1位は「経済問題」

本当なら正社員で働きたかったとしつつ、派遣や契約社員を選んでいる人は収入面の低さを不満に感じており、非正規雇用の賃金水準の低さを是正、仕事の内容と賃金の関係を適正にする同一価値労働同一賃金の実現が求められている。

■正規・非正規の貧困率 (公益財団法人横浜市男女共同参画推進協議会資料)



高齢女性



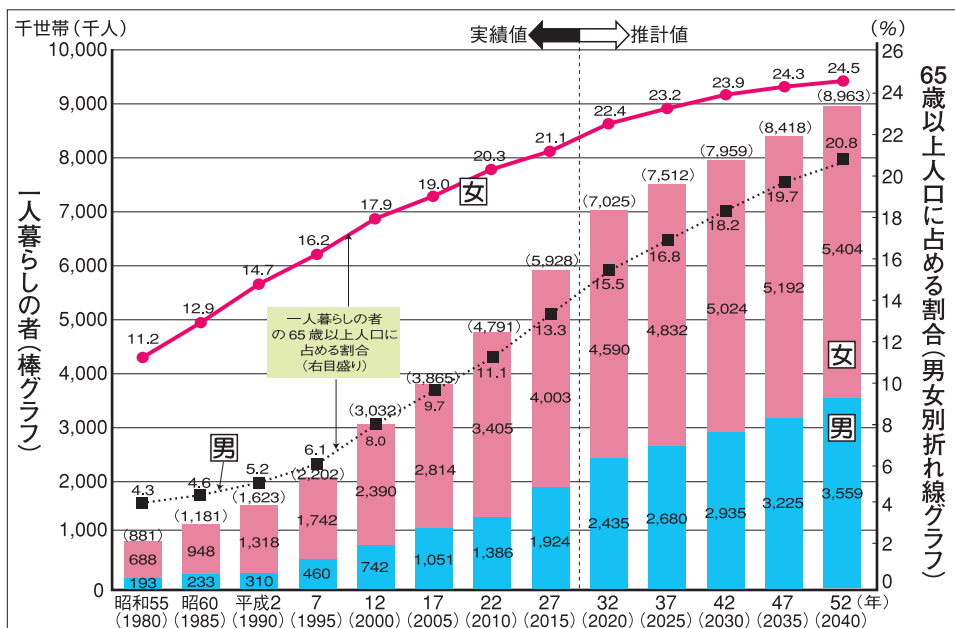
●高齢者単身世帯が多い(うち65%は女性) — 東京の高齢者の暮らしの現状

東京都の単独世帯割合は47.3%と全国に比べて10ポイント以上も多く、一世帯あたりの人員も、1.99と全国で最小。単独世帯約316万世帯のうち高齢者単身世帯は約74万世帯、そのうち女性高齢者単身世帯は約48万世帯と高齢者単身世帯の約65%を占めている。

●ひとり暮らしになっても不安なく暮らしたい

夫の年金を前提とした老後の家計のあり方が高齢女性の暮らしに直結し、結婚しない女性や離別した女性が男性に比べ低い賃金水準で働き続けることでの年金受給額になるという問題は、現在の非正規単身女性の課題とも重なることから対策が必要である。

■65歳以上の一人暮らしの者の動向 (2018年版『高齢社会白書』)



資料:平成27(2015)年までは総務省「国勢調査」による人数、平成32(2020)年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)2018(平成30)年推計」による世帯数

(注1)「一人暮らし」とは、上記の調査・推計における「単独世帯」または「一般世帯(1人)」のことを指す
 (注2)棒グラフ上の()内は65歳以上の一人暮らしの者の男女計
 (注3)四捨五入のため合計は必ずしも一致しない